

主要事業評価シート(第2次実施計画 / R1・2・3年度)

基本事項	計画コード	事業名	部名	教育委員会事務局
	17107	図書館整備事業	課名	生涯学習課 社会教育G
	施策の大綱	02:健康で生きがいを持てる暮らしの充実	財務	会計 01:一般会計
	基本施策	05:学びによる生きがいの創出	目	款 10:教育費
	施策の方向	02:読書活動の推進	項	05:社会教育費
戦略プロジェクト	03:「JR亀山駅周辺拠点力向上」プロジェクト	目	04:図書館費	
事業予定期間	H 29 ~ R 3 年度 主な根拠法令要綱等			

目的・概要	対象	市民
	目的	平成30年5月に策定した「亀山市立図書館整備基本計画」に基づき、市民の読書活動や生涯学習の拠点としての機能の向上を図るため、JR亀山駅周辺整備における公共的機能の中核となる新図書館を整備する。
概要	令和4年度開館に向け、市街地再開発組合が建設する再開発ビル内の保留床を取得するとともに、必要なシステム導入等を行う。また、整備と並行して管理運営等に関する検討を行う。なお、事業推進にあたっては、多様な意見を整備内容や運営手法等に反映するため、図書館整備推進委員会や市民ワークショップを開催するとともに、図書館の活用等の機運醸成を図るため図書館フォーラムを開催する。	

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
年度計画	年度計画	システム導入(ICタグ) ・業者選定、システム移行作業 管理運営 ・管理運営計画策定 蔵書計画 ・蔵書計画策定、地域資料収集 図書館整備推進委員会の開催 ワークショップの開催 先進地視察等	保留床取得 整備工事 システム導入 ・導入検討 管理運営 ・業者選定 図書館整備推進委員会の開催 ワークショップの開催 ○図書館フォーラムの開催 先進地視察等	保留床取得 整備工事 システム導入 ・ICタグ導入、取付作業等 建築工事見学会等の開催 ワークショップの開催 ○図書館フォーラムの開催	
	年度実績	○管理運営 ・「亀山市立図書館管理運営の基本的な方針」策定 ○蔵書計画 ・「亀山市立図書館蔵書計画」策定 ○図書館整備推進委員会の開催 5回 ○ワークショップの開催 2回 ○先進地視察:金沢みらい図書館、珠洲市市民図書館、野々市市学びの杜カド他			
事業の計画・実績	計画額	事業費	1,300千円	576,100千円	2,029,500千円
		国庫支出金		280,000千円	920,000千円
		県支出金			6,300千円
		地方債		266,000千円	605,000千円
		その他			
	一般財源	1,300千円	30,100千円	498,200千円	
	予算額	事業費	1,280千円		
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他			
	一般財源	1,280千円	0千円	0千円	
	決算額	事業費	928千円		
		国庫支出金			
		県支出金			
地方債					
その他					
一般財源	928千円	0千円	0千円		
人件費	総人件費	15,698千円	0千円	0千円	
	一般職員	15,698千円	0千円	0千円	
	所要人員	2.00			
	会計年度任用職員等	0千円	0千円	0千円	
総コスト(+)		16,626千円	0千円	0千円	
受益者負担率		0.0%	0.0%	0.0%	

			令和元年度	令和2年度	令和3年度	
指標	名称 新図書館の整備進捗	活動	計画値		着手	完成
			実績値			
			単位			
	名称 亀山市立図書館整備推進委員会の開催回数	活動	計画値	4	4	4
			実績値	5		
			単位	回	回	回
	名称 市民参加型ワークショップ開催回数	活動	計画値	4	4	4
			実績値	2		
			単位	回	回	回

事業の改善	前回評価	<p>【前回評価の対応方針の概要を記入】</p> <p>策定した「亀山市立図書館整備基本計画」を基に今後は市街地再開発事業と連携を図り計画的に市民ワークショップの開催を行い、基本設計との整合や管理運営方針の合意形成を図っていく。</p>
	改善行動	<p>【前回評価の対応方針を踏まえ、どのような措置を講じたか】</p> <p>計5回の整備推進委員会を開催し、管理運営方針や蔵書計画策定にあたり意見集約・合意形成を図るとともに、図書館整備の事業の進捗等をHP、広報、ニュースレターにて情報共有し合意形成を図った。</p>

		評価	(判定)
事業の評価	活動	<p>【計画どおりに実施できたか】</p> <p>亀山駅前での新図書館整備に向けて有識者や市民代表によって構成する図書館整備推進委員会を5回開催し、ワークショップは2回開催した。整備推進委員会では、「亀山市立図書館整備基本計画」に掲げる取組を具体的に展開するため、令和2年3月に「亀山市立図書館管理運営の基本的な方針」及び「亀山市立図書館蔵書計画」を策定した。以前の市民ワークショップは議題となるテーマを設けて、グループに分かれての意見交換の手法を取りながらの情報交換・提供であったが、令和元年度は図書館での活動、本との出会いを中心として講演会方式のワークショップを開催した。</p>	B
	成果	<p>【成果は順調に上がったか】</p> <p>亀山駅での新図書館整備に向けて有識者や市民代表によって構成する図書館整備推進委員会を(5回)開催し、またワークショップについては2回開催(4回開催予定)する。ワークショップは図書館での活動、本との出会いを中心とした講演会方式のワークショップを開催することができ新図書館での新しい取り組みの可能性を考えることができた。</p>	B

今後の対応方針	課題	<p>【課題は何か】</p> <p>「亀山市立図書館整備基本計画」を基に今後も関係部局と連携を図りスケジュールを明確にして、新図書館でのサービス提供の具体的な計画を策定する必要がある。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他 <p>【その他の場合、その内容を記載】</p>
	対応	<p>【課題に対し、どのように対応するか】</p> <p>昨年度同様にワークショップは開催し、また令和2年度から開館に向けた機運を高めるため図書館フォーラムを開催します。今後も市民の方に図書館整備事業の進捗等の情報を共有、発信し、事業を着実に進める。</p>	
	効果	<p>【対応することで、どのような効果が期待できるか】</p> <p>図書館整備に関しては、有識者や市民代表によって構成する図書館整備推進委員会や市民ワークショップで新図書館での展開や新しい取り組みの可能性について市民の方に情報提供をすることができる。また市民の意見を反映させることで市民総意の図書館整備を進めることにつながる。</p>	
対応時期		令和2年度	

【1次評価者】	教育委員会事務局 生涯学習課 社会教育グループリーダー 小坂 博文
【最終評価者】	教育委員会事務局 生涯学習課長 桜井 伸仁

(参考:前期基本計画期間(H29-R3)における評価履歴)

		H29	H30	R1	R2	R3
判定	活動	B	B	B		
	成果	B	B	B		

令和元年度予算額(事業費)の内訳

予算額(事業費)		1,280 千円
内訳	平成30年度からの繰越額	千円
	令和元年度の最終予算額	1,280 千円
	令和2年度への繰越額	千円